

# 障がい児・者関連予算【平成26年度新規・拡充事業】



障がいを知り、共に生きる ～障がい児・者の地域生活の充実、社会参画が進むための社会環境の充実～

平成26年度  
当初予算事業費  
約9億円

## 【現状】

- ・「あいサポート・アートとっとりフェスタ」(第14回全国障がい者芸術・文化祭)の開催(7月～11月)、2020年東京パラリンピック開催決定を受けた障がい者の芸術文化・スポーツの機運の高まり
- ・全国初の「手話言語条例」制定と、障がい者の情報アクセス・コミュニケーション全般へ関心の高まり
- ・重度障がい児者を支える施設・支援者の不足と、保護者の負担や親亡き後への不安
- ・障がい者の自立・就労への意欲の高まりと、法定雇用率引き上げに伴う企業の雇用ニーズの高まり

総事業費  
(経済対策+H26当初)  
約11.3億円



## 芸術文化・スポーツの振興

3.5億円



- ・「あいサポート・アートとっとりフェスタ」(第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会)の開催、障がい者アート活動の支援 (280百万円)
- ・特別支援学校の芸術文化活動の支援 (6百万円)
- ・障がい者スポーツの競技力向上 (30百万円)
- ・パラリンピックに向けたトレーニングセンター誘致の研究 (1百万円)
- ・障がい者スポーツの振興、機会創出 (28百万円)

## 重度障がい児・者の地域生活支援

1.3億円



- ・日中活動事業所等への運営費支援、受入れ施設の整備 (45百万円)
- ・県内3圏域での医療型ショートステイの確保 (68百万円)
- ・日中活動時のリハビリテーションの充実 (4百万円)
- ・地域移行に向けた生活体験の充実、ペアレントメンター(先輩保護者)による相談体制整備 (11百万円)

## 就労支援の強化

0.9億円



- ・就労支援事業所の商品カタログ作成(ギフトビジネス参入) (7百万円)
- ・工賃3倍計画、農福連携のさらなる推進 (41百万円)
- ・障がい者の企業での就労・職場定着や創業・起業の支援、県版ジョブコーチセンターの設置 (43百万円)
- ・特別支援学校版の技能検定制度の創設 (3百万円)

## 情報アクセス・コミュニケーション支援

1.7億円



### 手話の普及、環境の整備

- ・条例1周年「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」開催 (7百万円)
- ・手話の普及、手話を使いやすい環境整備 (58百万円)
- ・学校における手話の普及促進(手話普及コーディネーターの配置など) (23百万円)

### 支援拠点・体制の整備

- ・聴覚障がい者の支援拠点の整備(3圏域にセンター設置) (22百万円)
- ・視覚障がい者の情報拠点の整備(点字指導員増員など) (36百万円)
- ・盲ろう者の支援体制の整備(事務局体制整備など) (11百万円)

### 情報アクセス・コミュニケーション向上に向けた機器等の整備

- ・情報アクセス・コミュニケーション支援に関する調査研究 (1百万円)
- ・視覚障がい者の情報アクセス支援 (3百万円)
- ・盲ろう者の情報アクセス支援(点字ディスプレイ購入など) (1百万円)
- ・喉頭摘出者の発声訓練支援(発声訓練教材) (0.1百万円)
- ・タブレット端末を利用した遠隔手話通訳サービス (5百万円)
- ・手話付き動画による観光情報提供 (5百万円)

## 共に生きる環境づくり

3.9億円



- ・あいサポート運動のさらなる推進・強化、全国展開 (18百万円)
- ・障がい者の日中・夜間の受け皿となる施設の整備促進【経済対策】 (226百万円)
- ・芸術文化祭開催に向けた民間建築物、歩道等のバリアフリー化の推進 (127百万円)
- ・コーディネーター配置、学校支援ボランティア活用などによる特別支援教育の充実 (17百万円)